

3類型	鈹工業品	通巻番号	5-19-022
地域資源名	タオル	認定日	平成19年12月14日
地域	大阪府泉佐野市	所管省庁	経済産業省

事業名：当産地の特性である後晒し製法に基づいた、優れた新素材・新技術を駆使した高級タオルとマフラーの商品開発及び国内外へ販売

会社名：金野タオル株式会社

所在地：大阪府泉佐野市羽倉崎1-5-31

連絡先：TEL：0724-62-3801

H P：http://www.kinno.co.jp/

FAX：0724-63-0600

事業概要(新たな活用の視点)

- ・当産地は、日本タオルの発祥の地として120年の歴史を有する。この地域で発展した後晒しタオルは加工の最終工程で十分に洗いを施す。そのため、柔らかい風合いで肌に優しく、化学物質の残留が少ない上に吸水性に優れている。
- ・近年、中国等からの安価なタオルが、日本の消費量の約8割を占めている。ピーク時には当産地の700社以上のタオルメーカーが日本の消費量の6割を生産していたところ、現在は120社、1割程度の生産となっている。
- ・本事業では、当産地でしかできない後晒しタオルの風合いの良さを活かし、米国サンフォーキンバレイ綿花を素材とした高品質タオルやキュプラ、モダール素材とした高級タオル、着用感に優れた機能性タオルマフラーを開発する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・米国カリフォルニア州の綿産地であるサンフォーキンバレイのスーピマ綿を活用することにより、通常と比較して柔軟で強度に優れた品質を持つタオルに仕上げる。

- ・また、機能性マフラーは、重さ、柔らかさ、吸水速乾性、保温性等について優位性をもつ商品を開発する。

◆市場性

- ・タオルの内需は約11万トンで推移しており、現状ではタオルそのものへの需要は根強い。

- ・市場アンケートでは、「肌触り」、「色・デザイン」、「機能性」の3点をタオルの選ぶ基準の上位に上げており、これらに特化した商品開発を行う。

◆販路

- ・高級で趣向をこらした差別化商品を開発するため、富裕層を主たるターゲットとした需要開拓を進め、国内外の展示会等に出展、PRを行う。

地域資源における関係事業者との連携

- ・大阪タオル工業組合と展示会等で連携し、本事業の加工作業について、地元の加工業者と連携し、地域の活性化を図る。
- ・また、新しい差別化商品づくりを行うことにより、産地の商品開発力のレベルアップを図る。



【金野タオル㈱】



【ドビー織機】



【さらふわタオルマフラー】